

生徒Bの実態

・指示や話を最後まで聞かず、行動したり、突飛な質問をしたりする。



目指す姿

指示や話を最後まで聞き、適切な内容の質問ができる。(7か条の4条)

単元目標

各職業種の作業活動を通して働く意欲や態度を培い、将来の職業生活に必要な知識や技能を総合的に身に付ける。

手立て

聞くルール

聞くルールを決め、カードにまとめ提示する。評価表の提示。



質問・聞くカード

聞く時と、質問していい時を認識できるように、「聞く・質問する」カードを用意し、教師が話す時に使用する。

聞く

質問

指示の仕方

教師は、話や指示の最初と最後がはっきり分かるように、話したり指示したりする

お話します。

体を向けましょう。

これで終わります。



不安の撤去

話や指示をする前に、本人に不安がないか確認する。



成果

【学校】

- 全体指導で「お話します」などの一言で、聞く構えをつくっていた。
- 「聞く・質問する」カードの提示で、姿勢や視線を向けることができ、視覚支援が有効であった。
- 評価表を授業中に提示することで、今までの振り返りや、次からの見通しがたつた。また、もっとよくなりたいという意欲がわいた。

【実習先】

- 実習先の机に聞くルールを貼ることで、緊張する場であるが、席で落ち着いて「聞くこと」に意識することができた。

課題

- ・ 話集中できず、指示以外のことやっていた。ホワイトボードなどに指示内容を書き、確認できるようにする。
- ・ 言葉を知らず、正しい行動ができないことがあった。分かりやすく、短い言葉で伝えていく。
- ・ 実習先や就職先でもやれる支援に変えていかなくてはならない。